

福生市議会

正和会だより 第57号

令和8年2月
発行
福生市議会正和会
責任者
小林 貢

●正和会ホームページ
<https://fussa-seiwakai.moo.jp/>
 ●メールアドレス
fussa-seiwakai@drive.ocn.ne.jp

福生市議会正和会

検索 

ごあいさつ

会長 小林 貢

平素より、市民のみなさまには正和会の活動にご理解、ご支援をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

ロシアのウクライナ侵攻や資源価格の高騰などにより、物価高騰、特に食品やエネルギー価格の上昇は、家計や事業者に影響を与えています。

このため正和会では、市民の暮らしや事業者経営の安定を図るため、令和7年12月に物価高騰対策に係る緊急要望書（裏面参照）を福生市長に提出し、国の交付金等を活用するなどした支援を求めました。

この要望により、所得の少ない世帯や子育て支援、幼児教育・保育施設、福祉関係事業所などへの支援が実施されることとなりました。

これからも、市民が暮らしやすい環境づくりなどに取り組んでまいります。

引き続きみなさまの、ご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



〔後列左から〕 仲間 正司・武藤 政義・小澤 芳輝・清水 義朋
〔前列左から〕 森田 哲哉・佐藤 弘治・小林 貢・山崎 貴裕

令和8年度 福生市政に関する要望

正和会では、57項目について要望いたしました。主な内容は、下記のとおりです。

【暮らし、安全、安心対策】

- ①物価高騰対策
- ②防災・減災対策の充実
- ③インフルエンザ等感染症対策の推進

【福祉、住まい】

- ①住まいの省エネバリアフリー住宅改修等工事助成事業の更なる充実
- ②高齢者や障害者等に対するデジタルデバイド対策の充実
- ③地域福祉の担い手の確保

【教育】

- ①いじめ対策の強化
- ②一人1台iPadを活用した授業改善の推進
- ③不登校対策の強化・分校の円滑な運営（福生市立牛浜もくせい中学校）
- ④英語教育のより一層の強化
- ⑤児童・生徒の国語力の強化と日本語教育の充実
- ⑥通学路の安全対策（交通・防犯・災害等）

【環境対策】

- ①公園（トイレ・ベンチ等）の施設整備及び良好な環境づくり
- ②空き家対策の強化
- ③有機フッ素化合物（PFAS）の市内地下水への影響を確認するための継続的な調査の実施
- ④熱中症対策の強化（高齢者への啓発、民生委員による啓発、式典時の予防対策、町会・自治会の熱中症対策への補助）



【商工業振興対策】

- ①社会情勢に対応した、市内事業者への経済対策の充実
- ②空き店舗活用によるにぎわいづくり
- ③起業支援の強化

【その他】

- ①都市農業及び農あるまちづくりの推進
- ②市内の桜の保存・更新、適切な管理
- ③外国人への対応及び相互理解の促進
- ④外来生物による被害拡大防止対策の強化及び獣害対策の推進

令和8年度 東京都西多摩建設事務所への要望事項

1. 福生都市計画道路 3・3・3 の 1 号新五日市街道線の拡幅整備事業促進（国道 16 号線と五日市街道との交差点接続調整を含む）
2. 福生都市計画道路 3・4・2 号志茂中央線（多摩橋通り）の整備促進
3. 福生都市計画道路 3・3・30 号武蔵野工業線（産業道路）延伸の促進
4. 主要地方道 29 号立川・青梅線（新奥多摩街道）の歩道整備及び電線類の地中化の促進
5. 都道 165 号伊奈・福生線（あきる野市側）の圏央道インターへのアクセス道路としての整備促進
6. 都道の道路照明灯の LED 化の推進
7. 都道歩道の根上がりによる段差の解消とインターロッキングの緩み点検及び補修
8. 志茂中央線整備事業及び武蔵野工業線延伸事業の完成に伴う多摩橋通り原ヶ谷戸第二交差点周辺の渋滞対策
9. 主要地方道 7 号杉並・あきる野線（睦橋通り）の渋滞緩和



志茂立体工事の様子

【研修報告】

第20回全国市議会議長会研究フォーラム

日時：令和7年8月27日(水)・28日(木)

会場：札幌文化芸術劇場 hitaru

テーマ：地方議会議員のなり手不足問題の解決に向けて

講師等からは、地方議員等の老後の保障や若者や女性、会社員などが立候補しやすい環境の整備、議員定数や議員報酬のあり方の検討も必要である。また、3,000人のアンケート結果からは、地方議員のなり手不足の理由としては、①立候補するためにお金がかかりすぎる。②議員の仕事に魅力を感じない。③落選したら職を失う。④議員の仕事を知る機会がない。⑤他の仕事との兼業が難しい。などの説明があった。

また、パネリストや事例報告者の地方市議会議員からは、立候補し易い環境づくりや議員報酬、主権者教育やSNSでの情報発信、市民等への議会報告会や意見交換会、女性議員を増やす取り組みを行っていることなどの説明や報告があった。

研修を通じて、当市議会議員のなり手不足の問題・課題検討や、より良い議会運営を行うための参考として参ります。

物価高騰対策に係る緊急要望書を提出

令和7年12月19日に総務省が公表した11月の消費者物価指数は、生鮮食品を除いた総合指数が、前年同月比で3.0パーセント上昇するなど、依然として物価の高騰は、市民や市内事業者に大きな影響を与え続けております。

私ども正和会では、令和7年度及び8年度の予算要望において、物価高騰対策をお願いし、既に各種対策を効果的に実施していただいているところです。

そのような中、国においては、11月21日に「強い経済」を実現する総合経済対策～日本と日本人の底力で不安を希望に変える～において、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者を引き続き支援するために重点支援地方交付金を拡充する旨が盛り込まれ、12月16日には、重点支援地方交付金(推奨事業メニュー)2兆円が計上された令和7年度補正予算が成立いたしました。

そのため、本市におきましても、同交付金の活用を最大限図り、地域の実情に応じた物価高騰対策について、生活者支援及び事業者支援の観点を踏まえ、低所得世帯及び福祉関係事業所などに対する支援をはじめとした、幅広い対策を、迅速かつ着実に講じていただくよう要望いたしました。



【研修報告】

第87回全国都市問題会議

令和7年10月9日、10日の二日間、栃木県宇都宮市で開催された第87回全国都市問題会議に出席しました。

今回は「成熟社会の都市のかたち～コンパクトで持続可能なまちづくり」をテーマに、初日には、人口減少・成熟社会のデザインと題した基調講演や宇都宮市長の報告が、2日目は、「防災とコミュニティ」と題したパネルディスカッションが有識者により行われました。

福生市のこれからのまちづくりを進めて行くためには、公共施設の老朽化や学校の統合など避けて通れない課題も多いですが、今回の会議の内容からは多くのヒントが得られました。



正和会所属議員の令和8年度の抱負



仲間 正司

横田基地対策特別副委員長
建設環境委員
瑞穂斎場組合議会議員

2026年を迎え、市議会議員として改めて初心に立ち返り「市民の声を市政に確実に届ける」一年にしたいと考えています。社会情勢の変化や価値観の多様化が進む中、行政には、これまで以上に柔軟で現実的な対応が求められています。その中で、現場の声を丁寧に拾い上げ課題を見逃さず特に、防災対策や生活環境の向上は、市民の安心・安全を支える基盤であり、災害時に本当に役立つ備蓄や資機材の整備地域防災力の向上に向けた啓発活動を進めるとともに、日常生活におけるゴミ問題や鳥獣被害など、身近で切実な問題にも粘り強く向き合います。また、福生市の特性である多文化共生についても、課題と可能性の両面を冷静に捉え、誰もが住みやすいまちづくりを進めていく必要があり、市民一人ひとりが主体的に関われる仕組みを提案していきたいと考えています。対話を重ね、行動し、結果につなげ市民の負託に応え福生市の未来に責任を持つ議員として全力で取り組む決意です。本年もよろしくお祈りいたします。



山崎 貴裕

建設環境委員長 議会運営委員
横田基地対策特別委員
瑞穂斎場組合議会副議長

市民のみなさまには、日頃より大変お世話になっております。令和8年も、どうぞよろしくお祈りいたします。現代の社会は、情報化がますます進み、AIの活用も色々な場面で見られるなど、日々変化しております。一方で、物価高騰対策や猛暑対策など課題も多くございます。私は、昨年5月より、建設環境委員長の任に就いておりますので、これらの課題については、スピード感を持って、状況の変化を見逃さず対応していきたいと思っております。さて、今年も、ワールドベースボールクラシック、FIFAワールドカップ、ミラノ・コルティナ2026など、国内外で大きなイベントが続々と開催される年となります。みなさまも、活力が湧いてくる機会に触れることが多くあると思います。子どもから大人まで、市民のみなさまが元気であられることがなによりです。明るい話題に満ち溢れ、更に活気に満ちあふれた、住みやすいまち、誇れるまち福生となるよう、一生懸命働いてまいります。



小澤 芳輝

議会運営副委員長
市民厚生委員

地元の神社の元旦祭に参列し、皆様方と家族の安全と健康を祈念致しました。富士山がとても美しく、清々しい新年を迎えることが出来ました。私事ですが、昨年末に結婚式を迎えました。50年連れ添ってくれた妻には感謝しきれません。子ども3人、孫が22歳を筆頭に、大学生、高校生、中学生、小学生、未就学児で1番したが2歳になる9人に恵まれました。この孫たちに明るい未来が開かれることを祈っています。スーパーマーケットで買い物をする、主食の米の価格が5kg4,500円を、物価の優等生と言われていた卵が1個30円を超え、生鮮野菜、果物、肉類の価格も高騰しています。また、街に出て食堂、レストランを利用するとその価格の高騰ぶりは驚くばかりです。物価高の歯車は回り始めました、それに見合う賃金上昇が見込まれるような経済発展をする日本になるように祈念致します。



武藤 政義

市民厚生委員
東京たま広域資源循環組合議会副議長

日頃よりお世話になり、ありがとうございます。新しい年を迎え、市議会議員としての活動も18年が経とうとしております。初心を忘れることなく、市民の皆さまのお役に立てるよう、日々精進してまいります。現在、東京たま広域資源循環組合議会の副議長を務めております。この組合は、家庭ごみの最終処分並びに焼却灰をエコセメントにする資源循環を行っており、議会は東京都内25市1町の議会から各1名の議員が配属されています。400万人の都民が出す家庭ごみのことを扱う議会です。議会を運営する立場として、しっかりと務めてまいります。町会をはじめ、地域の活動には積極的に参加しています。たくさんの方にお会いし、多くの声を市政に反映していくことを心掛けて活動しております。活動の様子は常にブログ等で報告しています。少しでもご覧いただけたら幸いです。まちで私を見かけましたら、お気軽に声を掛けてください。今後ともよろしくお祈りいたします。



森田 哲哉

市民厚生副委員長 議会運営委員
横田基地対策特別委員
福生病院企業団議会議員

今年の抱負は、防災と福祉の両分野に力を注ぎ、地域の安心を高めることです。防災においては、災害への備えを日常に根付かせるため、訓練への参加や情報共有を継続し、町会や近隣と連携した行動計画を整えるとともに、要配慮者の視点を踏まえた避難支援への理解を深めていきます。福祉においては、支え合いの輪を広げるため、傾聴と見守りを大切に、学びを通じて制度や支援を活用する力を高めるなど、小さな行動を積み重ね、誰もが安全で尊厳を保てる地域づくりに貢献していきたいと考えています。そのために、平時からの声かけや学習会への参加、災害時を想定した役割分担の確認なども課題です。また、行政や関係団体との連携を意識し、情報の受け手にも伝え手にもなる姿勢が重要です。多様な立場を尊重し、継続的な改善を図りながら、信頼される行動を実践し、一年を通じて振り返りを行い、学びを次の行動へ確実につなげていきます。地域の未来に責任を持ち、備えと支援を進化させ、小さな一歩を怠らず、共助の力を育て、誠実に取り組み、継続していく所存です。



小林 貢

総務文教委員長 議会運営委員
横田基地対策特別委員
福生病院企業団議会副議長

市民のみなさまには、ご健勝にてお過ごしのこととご推察いたします。市議会議員として、問もなく7年目となります。市民に最も近い議員として、日々の暮らしやご意見等様々に、伺わせていただいて来ております。これまで、みなさまからは、道路の補修や公園樹木の剪定、掲示板取替工事、害獣駆除など、多くのご相談、ご依頼をいただき、その実現に取り組んでまいりました。みなさまのより良い暮らしや環境づくりのための政治や、これからも身近な議員として、断らない相談姿勢を貫いてまいります。また毎朝、児童生徒の安全な登校を確保するため、自宅近くの交差点で見守り活動を行っておりますが、この活動も4年が経過いたしました。これからも、児童生徒が元気に笑顔で登校できるよう、続けてまいります。引き続きの、ご指導・ご鞭撻の程、お願い申し上げます。



佐藤 弘治

市議会議長
建設環境委員

令和8年、丙の午の年が始まりました。謹んで、ご挨拶を申し上げます。昨年5月より議長職を預かり、私なりに精いっぱい務めさせていただいております。令和7年度は、東京26市の市議会で構成する、「東京都市議会議長会」の会長職を務めさせていただき、様々な会議への参加や、多摩地区26市が抱える共通した課題や問題について、議長会として東京都等への要望を行うなど、微力ながら、活動を行ってまいりました。また、あくまで予定ではございますが、令和8年度において、関東216市で構成する「関東市議会議長会」の会長職への就任が見込まれており、身の引き締まる思いでございます。市議会の取りまとめ役として、また議会人として、地域に暮らす全ての皆様から心豊かに暮らせる社会を築くために、一意専心、決意を新たにするとともに、市民の皆様の声に耳を傾け、地域との対話を重視しながら、皆様と共に、歩んでまいります。本年もどうぞ宜しくお願いいたします。



清水 義朋

横田基地対策特別委員長
総務文教委員 議会運営委員
西多摩衛生組合議会議長

世界的に混乱が予想されるようなニュースが年始から耳に入ってきました。ロシアによるウクライナ侵攻も先が見えない中、アメリカの軍事作戦によるベネズエラ大統領の拘束や中国の対日禁輸措置など、日本においても少なからず影響が出かねないこととなっています。今後も注視していかなければならないと思っています。さて、福生市では都内でも外国人住民の比率が高いことはすでにご承知のことと思いますが、今後もその傾向が変わらず比率が増加していくと予想されます。習慣や文化の違いからトラブルになりがちですが、交流しながら相互理解が進むことが共生への道になると思っています。災害時の対応やお祭りなどの力が必要な時に、一緒に活動できるなど新たな共生の形を築いていくことも必要と考えますので、様々な事例などを調査しながら提案していきたいと思っております。今年も皆さんの声に耳を傾け、少しでもまちが良くなるよう活動してまいります。